

### 3期12年にわたる市政運営について

伊藤 勝美



【質問】風間市政12年間を振り返っての検証を伺う。

【答弁】【市長】就任当初より「共汗・共学・共生」を基本理念として、市民総参画によるまちづくりを目指し、年ごとの目標を掲げ歩み続けて今があると考

【質問】12年間の中で、一番努力して、一番印象に残っているのは何か伺う。  
【答弁】【市長】今まで12年間、何事においてもすべてに全力で走り続けてきたが、やはり、

東日本大震災があげられる。

震災から復旧・復興のため、職員とともに全力で努めてきたと自負している。

#### ◎市道の維持管理について

【質問】人家の数が少なく、交通量も少ないような場所の除草作業の対応がおろそかになっていると考えるが、除草作業が必要な箇所をどのように把握しているのか伺う。

【答弁】【市長】道路パトロールや市民・利用者からの通報等により確認している。連絡があれば、現地調査を行った上で対応している。

【質問】道路の除草作業も大切だが、最近、

道路の上に覆いかぶさるように樹木の枝が伸びており、高さのある車両にとっては交通障害になるところが見受けられる。

このような市道の状況について、どのような対策をされているのか見解を伺う。

【答弁】【市長】市道脇の私有地から張り出している樹木は、土地所有者に所有権があり、市では、剪定や伐採ができないという現実がある。

現在、そのような場所が見つかった場合、土地所有者や自治会長に確認・相談しながら、樹木の所有者に適切な管理をしていただくようお願いをして対応している。

#### 【その他の質問】

◎救命救急について

◎子供の犯罪防止について

### 市長の引退について

四 竈 英 夫



本年6月に市長は、今期限りで引退することを表明した。そこで、あらためてその心情等について伺う。

【質問】3期12年の市政の中で、特にうれしかったこと、感激したこと、喜ばしかったことは何か伺う。

【答弁】【市長】震災からの復旧・復興は言うまでもないことである。

また、姉妹都市の登別市と海老名市との友好関係が一層深められたことが挙げられる。

さらに、三市の自治会が相互連携協定を締結したこと、三市の青年会議所が姉妹JCを締結したことなどにより、さらにトライアングルの交流の輪が広がってきたことはうれ

しいと感じている。

【質問】悲しかったこと、残念だったこと、悔いが残ることは何か伺う。

【答弁】【市長】やはり東日本大震災に尽きる。その中でも、東京電力福島第一原発事故に対して、国が県境で線引きをしたこと。そして、損害賠償がいまだに支払われていないことである。このことは、悲しいというよりも残念であり、強い怒りを覚えている。

【質問】任期中になし得なかったことは何か伺う。  
【答弁】【市長】方針に掲げた「4万人都市復活」がなし得なかったことである。人口が減少する中、それなりの歯止めをかけてきたと自負している。

しかし、最終的に市の人口を4万人という

数字に戻せなかったことが残念である。

【質問】次期指導者に何を期待し、何を望むか伺う。

【答弁】【市長】人の話しを聞くこと、そして何よりもそをつかないことである。

また、特定の個人のためではなく、市民のため、白石の発展のために取り組んでほしいと考えている。

#### ◎有害獣対策について

【質問】獣よけの花火は、年間に1世帯1回で、6本が無償で配付されているが、これでは足りないという農家が多い。

そこで、配付本数を増やし、負担軽減を図れないか伺う。

【答弁】【市長】申請の件数は減少している。現在、被害状況や申請状況、予算的なことを考慮して検討している状況である。